

⑧ アユ等の通し回遊魚の遡上可能性（河川・湿原地域）

通し回遊魚の保護など、健全な河川環境を保全するためには、コリドーとしての河川における上下流のエコ・ネットを保障する必要がある。

国土交通省河川局では、魚がのぼりやすい川づくりを推進するため、その一環として全国109の一級水系の本川等を対象に、魚ののぼりやすさに関する調査を、平成5年、平成14年に実施している。これは、主に稚アユが遡上可能かどうかという観点から、河川横断施設本体やそれに設置されている魚道について、落差や流速などを評価するものである。

同調査では、魚ののぼりやすさを評価するに当たり、一つひとつの河川横断施設等に関する調査結果を踏まえ、本川をアユ等が河口から連続してのぼっていくことができる距離を調べ、その距離とその河川延長（本川延長）との比率（遡上可能距離の比率）を算出している。

平成14年調査における遡上可能距離の比率の全国平均値は46.1%であり、遡上可能距離の比率が80%以上であった河川は吉井川(北海道)など12河川であった。109の一級水系の本川ごとの遡上可能距離の比率は表11の通りである。

全国レベルのエコ・ネットにおけるコリドーとしての河川の現況の評価及び図化については、この調査結果を利用した。

表 11 109 の一級水系の本川ごとの遡上可能距離の比率 (平成 14 年調査)

管轄局名	河川名	管理区間長 (本川延長)	遡上距離	遡上可能距離の比率
北海道開発局	天塩川	244.40km	157.46km	64.4%
北海道開発局	渚滑川	72.50km	36.40km	50.2%
北海道開発局	湧別川	74.00km	57.00km	77.0%
北海道開発局	常呂川	107.80km	103.00km	95.5%
北海道開発局	網走川	90.60km	31.00km	34.2%
北海道開発局	留萌川	35.00km	35.00km	100.0%
北海道開発局	石狩川	253.00km	181.22km	71.6%
北海道開発局	尻別川	111.20km	111.20km	100.0%
北海道開発局	後志利別川	56.80km	51.50km	90.7%
北海道開発局	鶴川	124.90km	102.00km	81.7%
北海道開発局	沙流川	88.30km	54.00km	61.2%
北海道開発局	釧路川	113.00km	113.00km	100.0%
北海道開発局	十勝川	149.30km	43.30km	29.0%
東北地方整備局	岩木川	95.80km	10.80km	11.3%
東北地方整備局	高瀬川	64.00km	50.80km	79.4%
東北地方整備局	馬淵川	126.90km	50.67km	39.9%
東北地方整備局	北上川	240.00km	195.70km	81.5%
東北地方整備局	鳴瀬川	77.60km	34.00km	43.8%
東北地方整備局	名取川	42.50km	12.83km	30.2%
東北地方整備局	阿武隈川	230.40km	83.47km	36.2%
東北地方整備局	米代川	122.90km	69.40km	56.5%
東北地方整備局	雄物川	129.80km	100.90km	77.7%
東北地方整備局	子吉川	60.80km	42.10km	69.2%
東北地方整備局	最上川	224.04km	179.80km	80.3%
東北地方整備局	赤川	70.40km	1.80km	2.6%
関東地方整備局	久慈川	120.14km	42.01km	35.0%
関東地方整備局	那珂川	165.20km	96.60km	58.5%
関東地方整備局	利根川	322.00km	216.50km	67.2%
関東地方整備局	荒川	169.00km	83.00km	49.1%
関東地方整備局	多摩川	138.00km	38.20km	27.7%
関東地方整備局	鶴見川	42.20km	16.80km	39.8%
関東地方整備局	相模川	109.00km	28.80km	26.4%
関東地方整備局	富士川	128.00km	1.94km	1.5%
北陸地方整備局	荒川(北陸)	73.00km	24.70km	33.8%
北陸地方整備局	阿賀野川	220.22km	90.10km	40.9%
北陸地方整備局	信濃川	366.50km	267.38km	73.0%
北陸地方整備局	関川	60.90km	15.20km	25.0%
北陸地方整備局	姫川	60.30km	13.00km	21.6%
北陸地方整備局	黒部川	77.00km	13.50km	17.5%
北陸地方整備局	常願寺川	51.70km	17.80km	34.4%
北陸地方整備局	神通川	116.90km	25.20km	21.6%
北陸地方整備局	庄川	111.80km	29.50km	26.4%
北陸地方整備局	小矢部川	67.00km	23.20km	34.6%
北陸地方整備局	手取川	65.65km	16.70km	25.4%
北陸地方整備局	梯川	34.65km	11.40km	32.9%
中部地方整備局	狩野川	46.00km	38.30km	83.3%
中部地方整備局	安倍川	50.80km	34.10km	67.1%
中部地方整備局	大井川	168.30km	47.20km	28.0%
中部地方整備局	菊川	27.70km	11.30km	40.8%
中部地方整備局	天竜川	224.50km	46.30km	20.6%
中部地方整備局	豊川	77.00km	39.60km	51.4%
中部地方整備局	矢作川	117.00km	74.50km	63.7%
中部地方整備局	庄内川	86.60km	46.66km	53.9%
中部地方整備局	木曾川	227.00km	77.30km	34.1%
中部地方整備局	長良川	160.10km	160.10km	100.0%

管轄局名	河川名	管理区間長（本川延長）	遡上距離	遡上可能距離の比率
中部地方整備局	揖斐川	105.40km	70.50km	66.9%
中部地方整備局	鈴鹿川	38.00km	19.68km	51.8%
中部地方整備局	雲出川	55.00km	20.60km	37.5%
中部地方整備局	櫛田川	85.00km	23.40km	27.5%
中部地方整備局	宮川	91.00km	49.00km	53.8%
近畿地方整備局	由良川	146.00km	52.41km	35.9%
近畿地方整備局	淀川	75.00km	53.20km	70.9%
近畿地方整備局	大和川	68.00km	17.56km	25.8%
近畿地方整備局	円山川	67.31km	53.50km	79.5%
近畿地方整備局	加古川	86.51km	50.50km	58.4%
近畿地方整備局	揖保川	69.74km	2.80km	4.0%
近畿地方整備局	紀の川	124.90km	16.93km	13.6%
近畿地方整備局	新宮川	161.80km	51.80km	32.0%
近畿地方整備局	九頭竜川	111.40km	29.70km	26.7%
近畿地方整備局	北川	20.11km	8.03km	39.9%
中国地方整備局	千代川	52.00km	3.60km	6.9%
中国地方整備局	天神川	31.81km	6.25km	19.6%
中国地方整備局	日野川	76.80km	2.52km	3.3%
中国地方整備局	斐伊川	75.30km	23.30km	30.9%
中国地方整備局	江の川	192.75km	104.40km	54.2%
中国地方整備局	高津川	81.10km	48.70km	60.0%
中国地方整備局	吉井川	133.10km	109.80km	82.5%
中国地方整備局	旭川	141.90km	10.85km	7.6%
中国地方整備局	高梁川	107.70km	2.78km	2.6%
中国地方整備局	芦田川	86.10km	7.89km	9.2%
中国地方整備局	太田川	103.65km	72.30km	69.8%
中国地方整備局	小瀬川	58.50km	15.20km	26.0%
中国地方整備局	佐波川	56.00km	7.70km	13.8%
四国地方整備局	吉野川	193.60km	15.00km	7.7%
四国地方整備局	那賀川	112.10km	13.05km	11.6%
四国地方整備局	土器川	32.30km	15.40km	47.7%
四国地方整備局	重信川	33.70km	1.72km	5.1%
四国地方整備局	肱川	102.80km	44.00km	42.8%
四国地方整備局	物部川	68.10km	14.20km	20.9%
四国地方整備局	仁淀川	124.00km	66.40km	53.5%
四国地方整備局	四万十川	192.40km	170.70km	88.7%
九州地方整備局	遠賀川	56.88km	35.14km	61.8%
九州地方整備局	山国川	47.60km	2.67km	5.6%
九州地方整備局	筑後川	122.70km	42.90km	35.0%
九州地方整備局	矢部川	58.10km	18.40km	31.7%
九州地方整備局	松浦川	47.40km	20.14km	42.5%
九州地方整備局	六角川	46.90km	29.08km	62.0%
九州地方整備局	嘉瀬川	56.90km	11.80km	20.7%
九州地方整備局	本明川	20.75km	8.65km	41.7%
九州地方整備局	菊池川	69.60km	14.40km	20.7%
九州地方整備局	白川	65.00km	4.40km	6.8%
九州地方整備局	緑川	71.30km	11.30km	15.8%
九州地方整備局	球磨川	113.90km	9.06km	8.0%
九州地方整備局	大分川	52.38km	12.89km	24.6%
九州地方整備局	大野川	88.40km	51.80km	58.6%
九州地方整備局	番匠川	37.90km	15.05km	39.7%
九州地方整備局	五ヶ瀬川	86.30km	32.50km	37.7%
九州地方整備局	小丸川	73.00km	20.20km	27.7%
九州地方整備局	大淀川	107.00km	35.20km	32.9%
九州地方整備局	川内川	129.10km	47.30km	36.6%
九州地方整備局	肝属川	30.30km	22.40km	73.9%

出典：国土交通省河川局資料をもとに作成

コリドーとしての河川の現況の評価及び図化の方法としては、アユが、主として川の中流域で孵化することから、①遡上可能距離の比率が 66.7～100%の河川を「上流まで魚類の遡上が可能」、②遡上可能距離の比率が 33.4～66.6%の河川を「中流まで魚類の遡上が可能」、③遡上可能距離の比率が 0～33.3%の河川を「中流まで魚類の遡上ができない」とし、調査対象河川をこの 3 つに区分した(表 12、図 40)。

表 12 全国レベルのエコ・ネット現況図におけるコリドーとしての河川の現況の評価及び図化の方法

上流まで魚類の遡上が可能 (遡上可能距離の比率：66.7～100%)	河川全体(ラインデータ)を青色で表示
中流まで魚類の遡上が可能 (遡上可能距離の比率：33.4～66.6%)	河川全体(ラインデータ)を水色で表示
中流まで魚類の遡上ができない (遡上可能距離の比率：0～33.3%)	河川全体(ラインデータ)を茶色で表示




上流まで魚類の遡上が可能 (遡上可能距離の比率：66.7～100%)	
中流まで魚類の遡上が可能 (遡上可能距離の比率：33.4～66.7%)	
中流まで魚類の遡上ができない (遡上可能距離の比率：0～33.3%)	



図 40 アユ等の通し回遊魚の遡上可能性（河川・湿原地域）
出典：国土交通省河川局資料をもとに作成